



四街道市議会議員

【討議資料】

よしのり

成田 芳律

36才

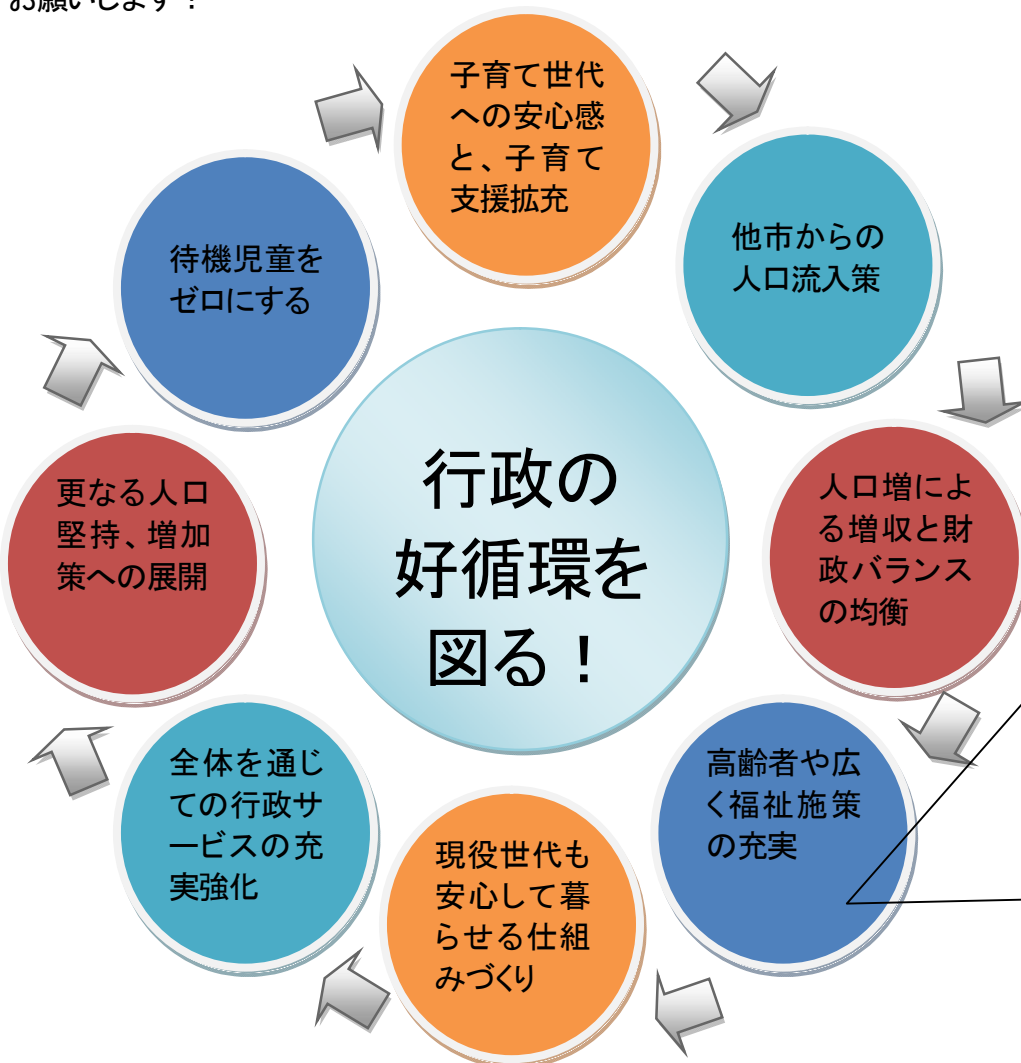
もう一步前へ!

見えてきた待機児童ゼロ!

少子高齢化に伴う人口減少社会となっている我が国ですが、四街道市は県内で人口増加4市のうちの1市でもあります。毎年1千人程度の増加を堅持して、行政サービスの低下を防ぐべく活動を続けています。また、低下を防止するだけでなく、更なる拡充やより効果的な施策展開への改善を行っています。

そうしたなか、子育て支援の一環として、特に要望の多い待機児童対策について、時間はかかってしまいましたが、待機児童ゼロが達成される可能性が見えてきました。これは、当然私だけではなく、多くの同僚議員、また市長はじめ職員一同の協力あってのものでもあります。限られた財源のなか、削減できる所を削減し、またできるだけかかる費用を抑えるための施策展開を着々と行ってきたからこそであると考えます。そして何より市民の皆様のご理解ご協力なくしては、いつまでも待機児童ゼロを目指しますという掛け声はあれども叶うことは決してありませんので、心よりの感謝御礼を申し上げます。

まだ現状市において待機児童は存在しています。また待機のまま年数が経過してしまい、児童はもとより保護者の方々に対しても、大変申し訳ない気持ちで活動を続けていましたが、引き続いてのご理解ご協力、また、ご指導ご鞭撻をお願いします!



四街道市は子育て支援ばかりで高齢者福祉がおろそかになっているのでは?との声を耳にする機会があります。

平成27年度決算において、総額約271億円のうち、約101億円が民生費としての事業展開をしており、中でも高齢者福祉に関する予算が大半を占めています。また、この金額は年々増加していくと考えています。私なりに勉強して改善や新たな福祉の充実についての提言もさせていただいていますが、財源についても考えなければ、責任をもって発言ができないと考えています。また当然実現もしません。そこで、歳出削減はもとより、歳入増加策の一環として、人口流入策を講じることにより、福祉施策の提言もできると考えています。

そうして、一層身近で安心できる福祉政策への改善を図っていきたく思います。